



施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	020	つながり支え合う地域づくり					
総合計画	基本目標	I	人と人が支え合い 誰もが幸せを感じるまち（保健・福祉）			主担当部課名	福祉保健部 地域福祉推進課
	基本施策	07	共に生きるまちづくりの推進				
めざす姿	地域において福祉課題に関する相談を受け止め、支援する環境が整備されており、地域住民が日頃から互いに関心を持ち、つながり合いながら、それぞれが主体的に課題を抽出した上で解決に向けて取り組んでいます。						
SDGsとの関連	 						

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	390,529,000	429,190,000	398,029,000	361,672,000		
国庫支出金	4,000,000	4,425,000	5,386,000	5,500,000		
都支出金	27,516,000	28,079,000	27,925,000	29,041,000		
市債	0	0	0	0		
その他	151,314,000	193,481,000	124,643,000	95,704,000		
一般財源	207,699,000	203,205,000	240,075,000	231,427,000		
予算現額	373,428,000	416,715,000	396,882,000	0		
決算額	350,671,384	399,647,336	376,674,854	0		
国庫支出金	4,415,000	4,972,000	5,500,000	0		
都支出金	24,275,525	102,723,397	28,003,520	0		
市債	0	0	0	0		
その他	56,808,270	97,311,968	154,000,226	0		
一般財源	265,172,589	194,639,971	189,171,108	0		
執行率	93.9	95.9	94.9	0.0		
(人件費)						
職員数	3.35	3.33	3.87	0.00		
職員人件費	26,216,470	26,929,417	30,893,745	0		
月額制会計年度任用職員数	0.00	0.00	0.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	0	0	0	0		
(間接経費)						
間接経費	137,420	142,310	144,866	0		
総コスト	377,025,274	426,719,063	407,713,465	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	
① 困りごと相談会での相談件数	577 件	実績 1,832 達成率 177.9	実績 2,909 達成率 282.4	実績 - 達成率 0.0	実績 - 達成率 0.0	1,030
② わがまち支えあい協議会による地域活動回数	1,174 回	実績 2,376 達成率 147.2	実績 3,296 達成率 204.2	実績 - 達成率 0.0	実績 - 達成率 0.0	1,614
		実績				
		達成率				
		実績				
		達成率				

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	物価高騰の影響などから、困りごと相談会での相談件数が増加している。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	困りごと相談会での相談件数について、国・都の政策により生じる増減の影響は特段なし。	各地域における福祉課題について、アウトリーチをよりきめ細かく実施し、地域の方々との情報交換による課題の把握、地域における支え合いの仕組みづくりを支援するコーディネート機能をさらに充実させるため、困りごと相談会の実施回数を拡大している。 また、住民主体の地域課題の解決に向け、地域福祉コーディネーターによるわがまち支えあい協議会（地区社協）の支援を行っている。	
市民ニーズ	福祉ニーズの多様化・複雑化に伴い、個人や世帯が抱える福祉課題を、一体的及び包括的に支援する必要性が高まっていることから、困りごと相談会での相談件数が増加した。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	地域福祉コーディネーター事業		主担当部課名	福祉保健部 地域福祉推進課				事業種別	重点プロジェクト							
次年度における事業の位置づけ									A							
指標名	基準値 (単位)		事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① 困りごと相談会(週3日以上)の実施会場の数	1	計画値	3	5	7	9	9									
	か所	実績	3	5	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		困りごと相談会(週3日以上)の実施会場を増やした。令和3年度:新町文化センター、令和4年度:住吉文化センター、武蔵台文化センター、令和5年度:是政文化センター、紅葉丘文化センター														
② わがまち支えあい協議会(地区社協)の定例会への参加回数	132	計画値	132	132	132	132	132									
	回	実績	132	132	-	-	-	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容		文化センター圏域毎に立ち上がっているわがまち支えあい協議会(地区社協)の定例会に地域福祉コーディネーターが参加して、支援を行った。														
事務事業名称	社会福祉協議会支援事業		主担当部課名	福祉保健部 地域福祉推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B							
指標名	基準値 (単位)		事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
① ※数値の比較や推移で評価することがなまじないため指標の設定は行わない	-	計画値	-	-	-	-	-									
	-	実績	-	-	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																
		計画値														
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																
事務事業名称			主担当部課名					事業種別								
次年度における事業の位置づけ																
指標名	基準値 (単位)		事業推移				計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
			R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		要因の種類(※)								
		計画値														
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																
		計画値														
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
要因の具体的内容																

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った
- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	本事業を府中市社会福祉協議会に委託し、各福祉エリアと各福祉エリアを統括する地域福祉コーディネーターを別に1名配置した。 また、住吉文化センター及び武蔵台文化センターにおいて、困りごと相談会専用ブースを設置し、困りごと相談会の実施回数を拡大した。	本事業を府中市社会福祉協議会に委託し実施した。地域福祉コーディネーターを増員し各福祉エリアへ配置した。 また、是政文化センター及び紅葉丘文化センターにおいて、困りごと相談会の実施回数を拡大した。		
今後の展開	困りごと相談会の専用の相談ブースについて、1年に2か所ずつ増加させ、地域福祉計画最終年度の令和8年度までに、全ての文化センター（11か所）へ設ける。 また、地域福祉コーディネーターによるわがまち支えあい協議会への支援を継続し、住民主体での地域課題解決に向けた取組を推進する。	困りごと相談会について、週3日実施の会場を1年に2か所ずつ増加させ、地域福祉計画最終年度の令和8年度までに、全ての文化センター（11か所）に拡大する。 また、地域福祉コーディネーターによるわがまち支えあい協議会への支援を継続し、住民主体での地域課題解決に向けた取組を推進する。		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
地域における助け合い、支え合いの仕組みづくりに関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
<ul style="list-style-type: none"> 包括的な相談支援体制の強化 支援が届いていない方を把握し、信頼関係を構築 世代や属性を超えて交流できる場や居場所の確保 	地域福祉コーディネーター事業を府中市社会福祉協議会へ委託し、個別支援・地域支援を行う。また、福祉総合相談窓口をはじめとする相談支援機関等との連携により相談支援体制を強化する。	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
本事業を府中市社会福祉協議会に委託し実施した。地域福祉コーディネーターを増員し、各福祉エリアへ配置した。また、是政文化センター及び紅葉丘文化センターにおいて、困りごと相談会の実施回数を週3日に拡大した。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	文化センターを拠点とした相談を受ける体制づくりを継続し、困りごと相談会の回数を増加させるため、地域福祉コーディネーターを新たに3名配置する。

施策評価シート

記載年月	令和6年9月
対象年度	令和5年度

1 施策の目的等

施策名	021	安心して生活できる福祉環境の整備				
総合計画	基本目標	I	人と人が支え合い 誰もが幸せを感じるまち (保健・福祉)		主担当部課名	福祉保健部 地域福祉推進課
	基本施策	07	共に生きるまちづくりの推進			
めざす姿	高齢者、障害者、子ども、外国人などを含めた全ての人にとって、安心して住みやすいまち、訪れやすいまちになっています。					
SDGsとの関連						

2 事業費・人件費等の推移

(単位:円、人)

	R 3年度	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	R 8年度
(事業費)						
当初予算額	74,387,000	80,289,000	83,053,000	89,935,000		
国庫支出金	45,000	474,000	5,621,000	7,338,000		
都支出金	31,641,000	28,028,000	31,368,000	35,404,000		
市債	0	0	0	0		
その他	217,000	7,451,000	2,284,000	2,093,000		
一般財源	42,484,000	44,336,000	43,780,000	45,100,000		
予算現額	74,553,000	80,289,000	83,573,000	0		
決算額	65,980,073	73,871,112	77,429,902	0		
国庫支出金	602,000	317,000	3,181,000	0		
都支出金	27,575,000	24,673,000	27,772,000	0		
市債	0	0	0	0		
その他	139,420	7,670,230	2,186,695	0		
一般財源	37,663,653	41,210,882	44,290,207	0		
執行率	88.5	92.0	92.6	0.0		
(人件費)						
職員数	9.17	12.11	12.35	0.00		
職員人件費	71,869,287	97,851,286	98,566,094	0		
月額制会計年度任用職員数	1.00	1.00	1.00	0.00		
月額制会計年度任用職員人件費	3,248,692	3,237,775	3,224,722	0		
(間接経費)						
間接経費	417,803	584,931	532,493	0		
総コスト	141,515,855	175,545,104	179,753,211	0		

3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)	実績の推移				R 7年度 目標値	
		R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度		
① 心のバリアフリーの認知度	24	実績	50.6	44.5	-	-	45
	%	達成率	112.4	98.9	0.0	0.0	
② 権利擁護センターふちゅうにおける成年後見制度に係る相談件数	895	実績	1,070	993	-	-	980
	件	達成率	109.2	101.3	0.0	0.0	
③ 福祉サービス第三者評価受審費助成数	26	実績	32	29	-	-	39
	事業所	達成率	82.1	74.4	0.0	0.0	
		実績					
		達成率					

指標の分析

外部要因の分析		外部要因を加味した実績の評価	
社会経済動向	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけにバリアフリーに関する関心が高まったことから、心のバリアフリーの認知度が高まった。	評価	目標達成に向け順調に進ちよくした
国・都の政策	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会をきっかけに国や都が心のバリアフリーに関する啓発事業を強化したため、認知度が高まった。	<ul style="list-style-type: none"> 心のバリアフリーの認知度について、国の目標値を基準として設定しており、「令和5年度総合計画に関する市民意識調査」の結果では、目標値をわずかに下回る認知度となったが、大きな乖離はない。 成年後見制度に係る相談件数は微減となったが、申立て手続き支援や後見人等の紹介における実績は増加しているため、事業全体で考えれば順調に進ちよくしている。 福祉サービス第三者評価について、もともと受審予定としていた事業所のうち、認知症対応型共同生活介護事業所において、令和5年度緩和適用の事業所が昨年より多かったため、受審数が微減となったが、目標値から大きな乖離はない。 	
市民ニーズ	心のバリアフリーの認知度について市民ニーズにより生じる増減の影響は特段なし。		

4 主要な取組(事務事業)の進行管理

事務事業名称	福祉のまちづくり推進事業(福祉のまちづくり環境整備助成事業)		主担当部課名	福祉保健部 地域福祉推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 環境整備助成件数	3	計画値	3	3	3	3	3	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	-	0	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		相談はあったものの、要件を満たす建築物ではなかったため、助成に結びつかなかった。														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称	権利擁護センター事業		主担当部課名	福祉保健部 地域福祉推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 成年後見制度利用促進事業(申立支援等)	465	計画値	580	645	710	780	780	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	504	562	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		概ね計画どおり事業を実施し、申立支援等の件数は増加しているが、市民等のニーズが令和5年度の計画値を下回ったため。														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								
事務事業名称	福祉サービス第三者評価受審助成事業		主担当部課名	福祉保健部 地域福祉推進課				事業種別	主要な事務事業							
次年度における事業の位置づけ									B				1			
指標名	基準値 (単位)	事業推移	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度	計画値	実績の評価(計画・実績の差異の有無と差異の要因分析)								
								要因の種類(※)								
① 福祉サービス第三者評価受審費の補助対象事業所数	25	計画値	33	35	37	39	39	1	2	3	4	5	6	7	8	
	件	実績	32	29	-	-	-	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	
要因の具体的内容		当初予算の受審予定事業者は計画通りであったが、緩和適用を受け、受審の必要がなくなった事業者が例年より多かったため、実績値が減少してしまった。														
		計画値						要因の種類(※)								
								1	2	3	4	5	6	7	8	
		実績						<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
								要因の具体的内容								

(※)要因の種類

- 1 概ね計画通り実施した
- 2 市民等のニーズが増加し計画を上回った
- 3 社会経済状況により必要性が高まり計画を上回った
- 4 市民等のニーズが減少し計画を下回った

- 5 社会経済状況により必要性が低下し計画を下回った
- 6 行政サービス供給を阻害する要因があり予定通り実施できなかった
- 7 行政サービス供給体制に課題があり予定通り実施できなかった
- 8 その他

5 施策の評価

	R 4年度	R 5年度	R 6年度	R 7年度
評価	概ね計画通りの成果を上げた	概ね計画通りの成果を上げた		
今年度の主な取組と成果	<ul style="list-style-type: none"> 心のバリアフリーについて、福祉まつりをはじめイベント事業を通じて普及啓発を行った。 権利擁護センター事業では、成年後見制度の利用支援等を行った。 福祉サービス第三者評価受審費助成事業について、事業者からの申請に基づき、評価の受審に必要な費用の全部または一部の助成を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 心のバリアフリーについて、福祉まつりをはじめイベント事業を通じて普及啓発を行った。 権利擁護センター事業では、成年後見制度の利用支援等を行った。 福祉サービス第三者評価受審費助成事業について、事業者からの申請に基づき、評価の受審に必要な費用の全部または一部の助成を行った。 		
今後の展開	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きイベント等を通じて「心のバリアフリー」という言葉の認知度を高めると同時に、「心のバリアフリー」を実践する人を増やしていく。 引き続き関係機関との連携を強化し、成年後見制度の利用促進に努める。 引き続き東京都の方針に準拠し、福祉サービス第三者評価受審費用の補助を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続きイベント等を通じて「心のバリアフリー」という言葉の認知度を高めると同時に、「心のバリアフリー」を実践する人を増やしていく。 引き続き関係機関との連携を強化し、成年後見制度の利用促進に努める。 引き続き東京都の方針に準拠し、福祉サービス第三者評価受審費用の補助を実施する。 		
4年間の総合評価				
評価				
実績				
今後の展開				

6 関連計画における位置づけ

協働により推進したい取組		
ソフト及びハードの両面におけるバリアフリーとユニバーサルデザインの普及啓発や推進に関すること。		
4年間(計画期間中)で協働により推進したい具体的な取組(解決したい課題・着手したい事業等)	今年度の方針	
<ul style="list-style-type: none"> 心のバリアフリーの普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 府中市社会福祉協議会との協働により、福祉まつりなどのイベント事業を通じて、心のバリアフリーの普及啓発を行う。 	
今年度の取組実績	評価	次年度の方針
府中市社会福祉協議会との協働により、福祉まつりの開催、防災と福祉をかけた防災まち歩きの実施などにより、心のバリアフリーの普及啓発を行った。	協働で実施したことにより、何らかの効果を市民に還元できた	引き続き、府中市社会福祉協議会との協働事業等を継続し、心のバリアフリーの普及啓発に努める。